



パッテロー通信



《学校の教育目標》 心豊かでたくましい実践力をもつ子

No.20

令和元年 8月29日

笑顔の力

校長 加藤 辰司

今年の久しぶりに梅雨らしい梅雨が明けた後は、昨年度同様高温注意情報が発令され、今年も夏休みのプール開放が昨年度よりは多かったものの、結局3日間しかできませんでした。

そんな中、心配された台風10号の影響もほとんどないなか8月18日(日)の早朝から、PTA環境整備作業にたくさんの保護者そして5、6年生の子どもたち、また、お手伝いに来てくれた1~4年生の子どもたちが参加してもらえました。今年も例年通り、ピフォー・アフターの美しさの違いに驚きと共に、改めて一人一人が力を合わせることのすごさを感じることができました。またやむを得ず当日欠席された方も、それぞれ時間を見つけて指定された場所の草引きをしていただきました。本当にありがとうございました。



全員そろって草引き

さて、今年の夏は日本中をそれこそ笑顔でいっぱいにするスポーツの話題がありました。ゴルフをされない方もきっとご存じだと思いますが、渋野日向子選手が女子ゴルフの5大メジャー大会の内の全英女子ゴルフ選手権で優勝したというニュースです。女子のメジャー大会制覇は、樋口久子さん以来、実に46年ぶり2人目だということです(ちなみに日本人男子のメジャー制覇はまだありません)。

その偉業もさることながら、プレー中の渋野選手のピンチの場面になっても常に笑顔を絶やさない言動が全世界の注目の的となりました。その結果、海外のマスコミが「スマイルシンデレラ」と渋野選手を名づけたということも報じられました。そして帰国してからのいわゆるシブコフィーバーは、皆さんご承知の通りです。

今回の快挙に伴って改めて「笑顔」の大切さ・すばらしさが取り上げられたことで、和知小学校がこれまで取り組んできたことが間違っていなかったということを図らずも証明してくれたと密かに喜んでいきます。

渋野選手も初めから笑顔いっぱいではなかったといえます。それでもゴルフを続けていく中で、自分が笑顔でプレーすることが周りの人たちを笑顔にすることにきっと気づき、そして周りの人を笑顔にすることで、また自分が前向きにプレーすることや力を出し切ることにつながることを実感として持つことができたに違いありません。そしてそれを力として今回の快挙につなげたのだと思います。

和知小学校で取り組む「パッテロースピリッツ」をまさに渋野選手が体現してくれたわけです。私たち和知小学校職員一同は、自信を持って子どもたちと共にこれからも「パッテロースピリッツ」を大切にしながら様々な活動に取り組んでいきます。

とはいえ、奉仕作業での朝の元気のない挨拶の様子を見ても、その根本をなす挨拶がまだまだ本物ではないということは痛感しています。ああいう場面で元気な明るい笑顔の挨拶ができてこそ、本物の挨拶だと言えるのだと考えています。夏休み中に取り組んだ「ぽかぽか言葉かけ運動第2弾」の結果を基にしながら、挨拶を軸に2学期も笑顔あふれる和知小学校をつくっていきたいと考えています。まずは、保護者の皆様にも常に笑顔の挨拶を心がけていただけると幸いです。